

山下循環器科内科ニュース第 163 号

2016 年 5 月 1 日発行（隔月発行）

ホームページ <http://yamashita.chobi.net/>

◎地震のお見舞いを申し上げます

今年 4 月 14 日からの熊本・大分地方の地震で被害を受けられた方々には、心からお見舞い申し上げます。地震の終息とともに被災地の一日も早い復興を願っています。

◎ 准看護学院の講義を担当しています

4 月から大分市医師会立准看護専門学院の循環器部門の講義を担当しています。25 年ぶりに教壇に立ちます。人に教えることは自分も学ぶことと思っています。手持ちの文献や医大図書館を利用して、新しい知識をチェックしながらスライド（パワーポイント）を作っています。いかに若い人にわかりやすく教えて理解してもらうかが大事で、その意味ではこちらの技量も試されています。全 8 回、1 回 90 分の講義です。次代の看護の担い手を養成すべく、努力してまいります。

◎ 感染性心内膜炎（かんせんせいしんないまくえん）とは

感染性心内膜炎とは、心臓内の異常血流で心内膜（主に弁）が傷つき、そこに細菌が付着して増殖し、菌の塊りができることで発病する病気です。

以前は、生まれつきの心臓病（先天性心疾患）や心臓弁膜症、心筋症などの人に多いといわれてきましたが、最近では、人工ペースメーカーや ICD（植込み型除細動器）を入れた人、透析している人、高齢者では基礎疾患のはっきりしない場合にも見られるようになりました。

症状は発熱、筋肉痛、関節痛、腰痛、心不全、塞栓症（脳梗塞など）があります。原因不明の熱が続く場合はこの病気も考えたほうが良いでしょう。

治療は、原因菌を同定し、十分な抗生物質の使用が必要です。内科的治療で軽快しないときには手術も考慮されます。塞栓症が予想されるときには早期の手術が必要です。予防的には口腔ケアや歯槽膿漏の治療、抜歯時には抗生剤の内服などが必要です。（以上、院長）

◎新入職員自己紹介

4 月 22 日より、デイケアで働いています介護福祉士の古庄こず恵です。久しぶりの介護の現場に、日々勉強の毎日です。利用者様が笑顔で過ごしていただけるように、サポートさせていただきたいと思います。よろしくお願いします。

○入職 4 月 11 日付事務長補佐 橋迫裕升（ハシカ ヲスリ）よろしくお願いします。

○退職 3 月 31 日付 看護師 柴田直子、社会福祉士 宇都宮隆宏 お世話になりました。